

2021年度 第76回国民体育大会栃木県予選会 大会要項

- 1・大会名：第76回国民体育大会ライフル射撃競技栃木県予選会
- 2・主催：栃木県教育委員会・栃木県スポーツ協会・栃木県ライフル射撃協会
- 3・主管：栃木県ライフル射撃協会

4・期 日：【50m・10m競技】

- 第1回目： 2021年3月21日(日) 会場：茨城県営ライフル射撃場
第2回目： 2021年4月4日(日) 会場：未定
第3回目： 2021年4月18日(日) 会場：未定
補予備日： 2021年5月2日(日) 会場：未定

※ 予備日(補)は、予選3回の成績により代表選手を選考するが、3回目終了時点で規定の参加回数に満たなかった選手に対する補足予選会とする。

【CFP競技】

警察学校 射撃場 (別途)

【ジュニア10m】【ジュニアBR/BP競技】

未定

救済： 勤務等で予選会に参加できない選手、また各予選会と同日に開催される中央競技会等に参加する選手(ふるさと選手含む)は、予め強化部へ連絡の上別途競技会の記録を予選会の成績とすることができる。その際、どの競技会に参加するか事前に文書・メール等で強化部へ申し、承認を得ること。

また、栃予選会の記録登録料(500円)を納める事。

※ 12・選手選考 ④ ⑤ ⑥ 参照

【選手選考期間】：3月10日から予備日(5月2日)までの間とする。

- 5・会場：県警察学校射撃場・茨城県営ライフル射撃場・県立真岡北陵高校射撃場・他

- 6・時間：集合 9:00 受付 9:10～9:25 競技開始 10:00 (ATL 9:30)

※ 事前申し込み選手数および、当日の集合状況、参加希望種目によって、射群調整等により、開始・終了時間は変動することがあります。

- 7・種 目：

① FR3×40 (3×20) 1,144 (572点)	② R3×40 (3×20) 1,136 (568点)	
③ FR60PR (616.0点)	④ AP60 (558点)	⑤ AP60W (550点)
⑥ AR60W (615.0点)	⑦ AR60J (612.0点)	⑧ BR60J (625.0点)
⑨ BR60WJ (625.0点)	⑩ BP60J (545点)	⑪ BP60WJ (545点)
※ ①のFR3×40種目と②のR3×40種目については、3×20で実施する		
⑫ AR60 (615.0点)	⑬ AR60WJ (612.0点)	⑭ CFP60 (570点)
		ブロック種目
		ストレート種目

- 8・競技規則：各種目ともに、日本公式ライフル射撃競技規則最新版を適用する。

- 9・参加資格：・現在、公安委員会の許可を受けて銃砲を所持している下記の者
(但しビームライフル射撃に参加する者はその限りではない)
- ・栃木県内に居住又は勤務している者
 - ・大学を除く学校教育法第1条に規定する学校の生徒
 - ・大学生にあつては、栃木県内の高等学校の卒業生(ふるさと選手)
 - ・その他、第 76 回国民体育大会ライフル射撃競技実施要項による

10 参加申込：運営上、7日前迄に事務局まで申し込みください。

※郵送かメール又はFAXにてお願いします

mail:base-gf@tochi-ra.jp Fax:028-636-9917

11 参加料：SBR=3,000 AR(成年)/AP =2,500 AR(ジュニア)=1,500

BR/BP(ジュニア)=1,000 CFP=1,000

予備日説明内容のとおり、成績登録料は、500円

注：必ず、重複する競技会の前に申告し承認を得ること。後提出は無効。

- 12 選手選考：①成年・ジュニアとも、上記基準点をクリアした選手に1ポイントを与えポイントの多い選手を国体代表候補選手とする。
- ②各種目とも3回の予選会において、同種目で同ポイント及び誰もポイントを取得できなかった場合は、強化部に於いて関プロ及び国体の代表候補選手を選考する。
- ③ジュニア選手の選考については、予選成績の他に県外大会の成績等も参考にする。
- ④各種目とも3回の予選会に参加する事。但し、事故・病気入院・会社勤務等の都合上やむをえない事情により規定回数に満たない選手は、予備日の記録を充当する事ができる。
- ⑤予選日が、県外大会と重なる場合、又職務都合等により予備日を充てても規定回数に満たないことが予想される選手は、事前にどの競技会に出場するかを強化部長へ申告し、承認を得ることでその成績を予選会の成績とする事ができる。
- ⑥ ⑤に該当する競技会は、本予選会、中央大会と同等のG4以上の競技会をさす。

13 強化選手：予選会・予備日終了後に、12・選手選考の内容をもとに、今年の国体強化選手を決定し、後日各会員並びに選手に通知発表する。

- 14 その他：①銃器弾薬の携帯・運搬・保管等については、各自十分注意する。
- ②選手は、銃砲所持許可証及び射手手帳を必ず持参する。
- ③公認審判員は、是非とも役員としてお手伝い方願います。
- ④参加選手各自、ゼッケン(A4)を着用すること。
- ⑤各自、体調に留意し、感染症対策等を確実に実行すること。**